

---

# 本当の凶器とは？

エイプリル

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

本当の凶器とは？

### 【Nコード】

N9012A

### 【作者名】

エイプリル

### 【あらすじ】

本当の凶器とは、それは“言葉”言葉は心にどのようにに影響を与えるのか？

## （前書き）

いきなりですが、小説とは言えないものだと思います。ジャンルどころか何に類するかも分かりません。分かる方、教えて下さい。

言葉は最大の凶器だ。

人は言葉で人を壊すことができる。

言葉だけで、殺すのは不可能だが、行動の動機を作りだすことは可能だ。

どんなに屈強な人間でも、弱い部分が必ずある。

そして、その部分を

巧妙に。

的確に。

少しずつ……。

少しずつ揺らし続ければ。

心が崩れ。

支えを失い。

周りを信じられなくなり。

いずれ……壊れる。

壊れずとも、正常に戻ることは難しい。一生、病院のベッドの上で過ごす人も少なくないだろう。

だから、言葉の使い方には細心の注意を払わなければいけない。

人は表情に見せなくても。

自分自身が気付いていなくても。

心は傷を負ってるかもしれないのだ。

それが積み重なり、限界に達してしまった時、それは予想外の行動となつて現れる。

その行動は二つに分類する事が出来る。

それは。

自らの破壊か他者の破壊だ。前者なら、まだ引き返すことは出来るが、後者ではそうはいかない。

その行為は大なり小なり、犯罪として裁かれる事になるからだ。

裁かれると分かっているようにも、多くの者が後者を選ぶだろう。

理由はたくさんある。しかし、核となるものはこれだろう。

“痛みを感じないから”

後者を選ぶ者は、とても心が弱いのだと私は思う。

自分は傷付けられないが、他者を傷付けるのは何とも思わない。そういう者は、たとえ、人をあやめてしまっても。

「なんだ。もう動かないのかよ」

つと、まるで、遊んでいた玩具が、壊れて動かなくなったかのように。

それから、興味を無くし、何事も無かったように、立ち去ってしま

うだろう。

これは、極端な例だが、あながち間違っていないと思う。

一般例を出すとすると、極めて多いのは、家族、友人、学友、初めてあった人、力のない人

自分を良く知っている人か、全く知らない人に分けられると思う。

家族、友人、学友などは、自分の事を知っているために、自分の触れられたくないところに触れようとしてくる、それが鬱陶しいから殺してしまう。

初めてあった人、力のない人などは

“知らない人”

だから、殺してしまっても、罪悪感を感じることがないためだ。

もしかしたら、そこいらに飛んでいる虫などを、ぷちっ、と潰すようなものかもしれない。

これで私の話を終わりにしよう。

最後に付け加えるなら。

これは、誰にでも言える事だ。どんな人にも感情があるのだから。

心は脆いものだから。

言葉を使うとき、私達は細心の注意を払わなければならない。

会話でも、電話でも、手紙でも、パソコンや携帯のメールでもだ。

もし、ちくつ、と心が痛んだら気を付けて欲しい。

それは。

心があなたに危険を知らせるメッセージなのだから。

だからといって、人と距離を置こうとしていけない。

ますます心が病んでしまうからだ。

そんな時は気が置けない友人と、何も考えず大いに楽しめばいいだろう。

それが一番の心の休息になるはずだ。

決して、人との交わりを避けてはいけない。

人は一人では生きていけないのだから。

（後書き）

最後まで、読んで頂き本当にありがとうございました。

出来ましたら、この作品はどのようなものか教えて頂けませんか？  
書いた私もよく分かっていないので、お願いします。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9012a/>

---

本当の凶器とは？

2010年11月14日09時40分発行